

# 思考力・判断力・表現力を問う定期考査問題づくりのヒント<英語>

定期考査は、生徒の学習状況を把握し学習指導の改善・充実を図る大変重要なものです。

## 定期考査の意義

### 教師

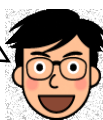
単元の指導の目標、内容、方法を明確にしたり、学習指導を改善・充実したりする。

指導と評価の  
一体化

### 生徒

学習したことの意義や価値を実感し、目標や課題をもって学習を進める。

知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を評価する定期考査問題の作り方の一例を、次の【ステップ①】～【ステップ⑤】に示します。**単元を通して生徒に身に付けさせるべき力を明らかにするために、単元の学習に入る前に定期考査問題の作成**に取り組む学校も見られます。



## 定期考査問題づくりの構造

※ステップ②～⑤は相互に関係していますので、一体的に考える必要があります。

### 【ステップ①】出題のねらいを明らかにします。

- ~についての英文を読み、それに対する自分の考えを書くことができる。
- ○○（文法事項）を用いて~について表現することができる。 など

単元の学習内容に係る学習指導要領の目標及び内容をもとに、出題のねらいや期待する正答を明確にします。

### 【ステップ②】期待する正答を作成します。

必要な知識・技能を活用して、思考・判断・表現している具体的な記述例を作成します。

「何を、どのように思考・判断させて、表現（記述）させるか。」

をあらかじめ明確にすることが大切です。

これが、正答の条件（採点基準）の作成にもつながります。

### 【ステップ③】出題のねらいの達成に必要な知識・技能の内容を明らかにします。

- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解
- 知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能

### 【ステップ④】出題のねらいの達成に必要な思考・判断・表現の方法を明らかにします。

- 【目的や場面、状況などに応じて】
- 必要な情報や考えなどを捉える。
  - 得られた情報や表現を選択したり抽出したりして活用し、事実や自分の考え、気持ちなどを表現する。
  - 伝える内容を整理し、互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合う。 など

### 【ステップ⑤】知識・技能を活用して、思考・判断・表現する場面や問い方を設定します。

- 言語の使用場面（過去形が用いられる場面 など）や求める思考力・判断力・表現力をもとに、場面設定を行います。 [例：新聞記事について友人から意見を求められた。]
- 目的や場面、状況に応じたコミュニケーションとなるよう問いを設定します。 [例：新聞記事についての自分の考えを理由をもとに友人に伝える。]

平成31年度県立高校入試問題を用いて、【ステップ①】から【ステップ⑤】に沿って具体的に説明します。



H31 4

4

外国に住む友人から、あなたにメールが届いたとする。[ ]内の英文は、その一部である。質問に対するあなたの答えを、以下の【条件】にしたがって書け。

I will visit your town with my family to meet you and your family next year. We want to have a good time with you. Which is the best season to visit your town?

【条件】

- ・最初の文は、I think [ ] is the best. を用いること。その際、[ ]には、四季（春、夏、秋、冬）から一つ選び、英語で記入すること。
- ・選んだ理由を含めて書くこと。
- ・最初の文は語数に含まずに、30語以上の英語で書くこと。

【ステップ①】出題のねらいを明らかにします。

メールを読んで友人の依頼内容を理解し、比較表現や助動詞などを用いて、まとまりのある英文で選んだ季節の理由を述べることができる。

【文法事項】c 助動詞、f 形容詞や副詞を用いた比較表現

・比較表現や助動詞の用法を理解し、適切に用いることができる。

【書くこと】イ

・自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。

【ステップ②】期待する正答を作成します。

I think spring is the best. We have a flower festival and many people join it every year. We can see beautiful cherry blossoms around a famous castle which is more than four hundred years old.

【ステップ③】出題のねらいの達成に必要な知識・技能の内容を明らかにします。

- ・未来形や比較表現を用いた英文を読んで、要点を理解することができる。
- ・比較表現を用いて訪れるのにおすすめの季節を説明することができる。
- ・助動詞などを用いて理由を述べ、まとまりのある英文で表現することができる。

【ステップ④】出題のねらいの達成に必要な思考・判断・表現の方法を明らかにします。

- ・メールの英文から相手の依頼内容（「おすすめの季節を教えてください」）を理解することができる。
- ・友人が海外から家族と来日することを踏まえ、選んだ季節に関連する自分の街の魅力などを説明することができる。

【ステップ⑤】知識・技能を活用して、思考・判断・表現する場面や問い方を設定します。

- ・比較表現や助動詞を使用できるように、「あなたの街を訪れるのに一番よいと思う季節を教えてください」という友人からのメールに返信する場面を設定する。
- ・まとまりのある英文で表現する必然性をもたせるため、「四季から一つ選び、その理由を含めて30語以上で書くこと」という条件のもと、「メールの質問に対するあなたの考えを書け」という問いを設定する。